



佐賀県生協連 ピースアクション

# 大学生協の平和活動について

全国大学生協連 九州ブロック学生事務局  
小沼桜輔

## 自己紹介

小沼 桜輔 (おぬまおうすけ)

立命館アジア太平洋大学 (APU)

国際経営学部4年

神奈川県出身

九州ブロック学生事務局 委員長

Peace Now! Okinawa2024 GL



## 本日の流れ

- ① 大学生協とは  
なぜ大学生協が平和活動を行うのか
- ② 大学生協が行う平和活動の紹介
- ③ 平和活動を行って感じてきたこと
- ④ 2024年でも変わらない平和活動

# 大学生生活協同組合

大学での生活を よりよくする組織



「よりよい生活と**平和**」

を実現するために取り組みを展開

大学生協とは

大学生生活協同組合

なぜ平和を目指しているのか？

「よりよい生活と平和」

を実現するために取り組みを展開

## 大学生協が平和推進を行う意味

### 大学生協のこんな「過去」から

- 大学生協が戦争で解散された過去
- 学生を戦地に送り込んだ過去
- そのような社会で事業活動をしていた経験



## 大学生協が平和推進を行う意味

1953年の全学協大会で「よりよい生活と平和のために」の  
スローガンが採択される。

戦後から「**よりよい生活を獲得する運動は平和を守る運動と  
不可分である**」の立場から様々な平和活動に取り組んできた。



**大学生協にとって「平和」は運動の柱**

# 大学生協が平和推進を行う意味



## 大学生協がめざしている「平和」像

声を挙げて、  
私たちの手で、  
平和をつくる。



よりよい生活  
のため



よりよい生活  
のため



よりよい生活  
のため



よりよい生活  
のため



よりよい生活  
のため



よりよい生活  
のため



よりよい生活  
のため

単に戦争がない  
状態ではなく、

# 平和

であること

様々な人が  
民主的に意思決定  
できる社会



## 大学生協が平和推進を行う意味

大学生協が平和活動をする上で  
変わらず意識してきた**3つ**のこと

**1** 知り・知らせ・考え・話し合い・行動する

**2** 学生らしくアカデミックに・多角的に

**3** 一緒に頑張る・考える仲間を増やす

上2つを大切に**一緒に頑張る・考える仲間を増やす**のが我々の活動です

# 大学生協が行う平和活動

# 大学生協が行う平和活動

## Peace Now!

大学生協で1982年から42年続いてきた、平和を考えるための体験型プログラム。

最初は冊子としてスタートし、現在では広島・長崎・沖縄で毎年開催している。（今年度は9月3日～5日に開催）



1982年に冊子としてスタート。



被爆者による講話の様子。



フィールドワークの様子。

## 大学生協が行う平和活動

### Peace Now! (2023年度の報告)

【全体テーマ】

私がつなぐ・あなたと広げる未来のバトン  
～平和を伝えていくのはわたしたちの1歩から～

去年は、運営・参加者合わせて**176名**の参加がありました  
FWやGWを通し、平和について考えることができました。

# 大学生協が行う平和活動

## Peace Now! (2023年度の報告)

開催地：広島・長崎・沖縄

### 【主な流れ】

#### ①事前学習会

#### ②フィールドワーク

グループごとに平和関連施設を巡りました。

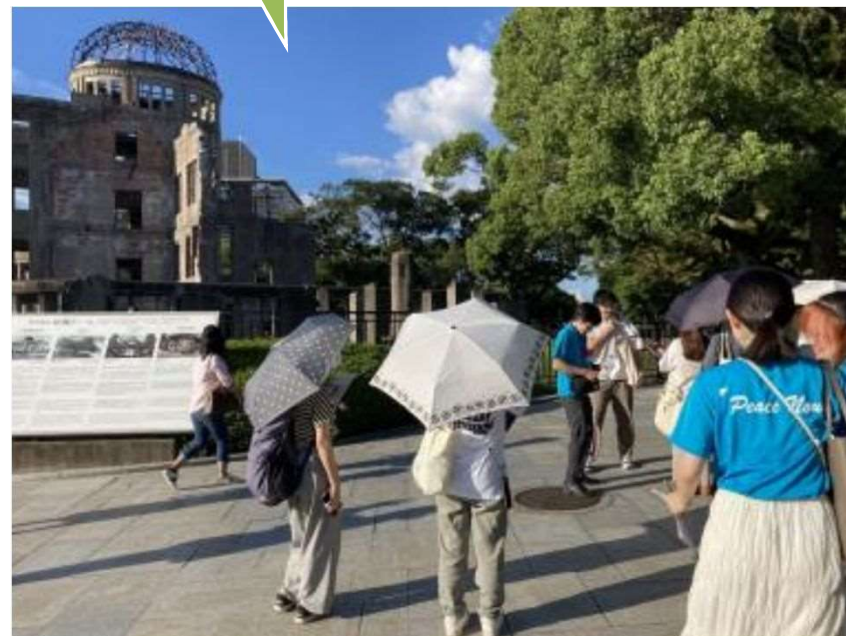
#### ③当時を生きた人の講話

#### ④平和について考える

#### ⑤事後交流会

各大学でどのように広めていくかを考えました。

今までの平和学習で得られなかった、新たな人との関わりや、新たな視点を共有できました。



# 大学生協が行う平和活動 ～九州ブロックの大学の平和活動～

## チャリティービバレッジ（長崎県立大学佐世保校）

発展途上国への募金を目的とした活動です。

前回は2回目でしたが、1回目から**連続で参加**してくれる学生もいたそうです。

学生が**国際貢献や平和**について考える機会を提供できていました。



**発展途上国について学ぼう ～教育・健康編～**

**教育面の現状**  
世界では約3億300万人もの子どもや若者が学校に通えておらず、6.1億人以上の子ども・若者は必要最低限の読解力や計算力を習得していないと推計されています。学校に通えない子どもは特に女子に多く、男女による教育格差もなくなりません。教育が受けられない要因としては、家事や子育てなどの労働、学校の数や教師や学校の質不足、安全な交通手段がない、貧困などがあげられます。

**健康面の現状**  
途上国では、医療を受けることができずに病気で亡くなる人が大勢います。しかも、その多くの病は、先進国であれば治癒できるものがほとんどです。この要因は、満足な医療サービスを受けることができないためです。途上国は、水や衛生環境が不十分で、不衛生な水を摂取した結果として感染症となるのです。感染症になっても、それを治療する医師もいなければ、薬もありません。満足な医療サービスを受けられないまま死んでしまうのです。

**～チャリティービバレッジ～**  
世界中の子どもたちを守る募金活動を行います！  
集まった募金はユニセフへお届けします。

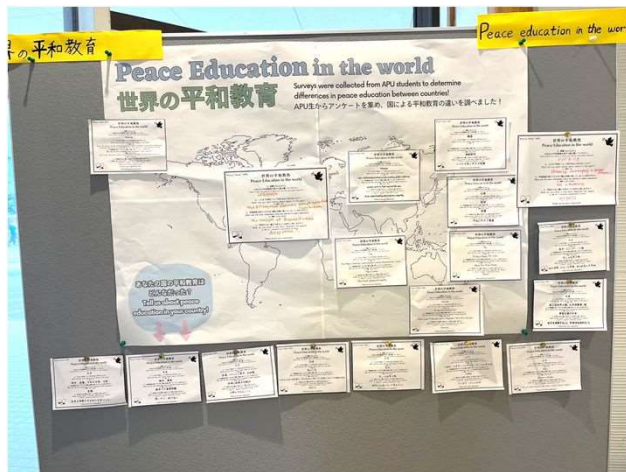
活動日程：2024年1月22日（月）、23日（火）、25日（木）  
会場：食堂店舗側入口

**ご協力お願いします** 生協組織部 平和環境チーム

# 大学生協が行う平和活動 ～九州ブロックの大学の平和活動～

## Peace Now! APU (APU COOP)

Peace Now!に参加した学生中心にAPU内で平和に関する展示や、食堂ですいとんの販売を行いました。APUという国際的な環境を活かした平和活動となりました。



平和活動を行ってみて



## 平和活動を行ってみて

平和活動に積極的に関わっている学生に、  
**平和活動を行う上で感じたこと**をインタビューしてみました。

平和に関して考える機会は身近にあり、**長崎・広島・沖縄に限らず、平和活動をしていくことは重要。**

歴史は繰り返すものだけど、今では戦争って本当にあったのかな？ってレベル。**過ちを繰り返さないように語り継いでいく必要がある。**  
**平和について考えることができる平和を守っていきたい。**

**平和活動をしたら興味を持ってくれる仲間が多い。**  
今後は学びを広める、周りを巻き込むことに力を入れていきたい。

# 2024年でも変わらない 平和推進活動

# 2024年でも変わらない平和推進活動

## 1 知り・知らせ・考え・話し合い・行動する

→平和活動の軸を大切にみんなで平和をつなぎ、広げる

## 2 学生らしくアカデミックに・多角的に

→全国の大学生とのつながり

## 3 一緒に頑張る・考える仲間を増やす

→平和活動に取り組む若者同士のネットワークを強化

→地域生協の皆様も一緒に平和活動を広げましょう！

## 2024年でも変わらない平和推進活動

【Peace Now!2024のテーマ】

対話を通して「つなぎ・広げる」  
一人ひとりの思いがはじまり